JCHO YOKOCHURENKEI DAYORI

ジェイコー JCHO 横中連携だより vol.1

目次

トピックス　病院長より……1
管理者よりご挨拶……1・2
地域包括ケア病棟について…3
外来診療予約制度のご案内…4
部署紹介……4

「地域包括ケア病棟の運用開始について」

病院長　大道　久

当院はこれまで急性期医療病院として、全病棟を７対１看護体制で運用してきましたが、そのうち１病棟を本年７月１日より、今期診療報酬改定で導入された「地域包括ケア病棟」として運用を開始いたしました。その後、地域の診療所の先生方からのご紹介も増え、この９月には病床利用率も８割に達しています。当院では以前からいくつかの病室で「亜急性病床」を運用しており、「地域包括ケア病棟」はそれらの病床を増やして、１病棟として運用することとしたものです。

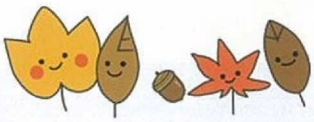
「地域包括ケア病棟」の役割は、急性期後の患者の受け入れ、在宅復帰支援、及び在宅や介護施設において入院医療が必要な場合に利用されることとされています。

今回、この病棟が導入された背景には、過剰となった７対１看護体制の急性期病床を削減して病床機能をバランスのとれたものとする必要があることや、病院病床から在宅へ向けた移行をさらに促進させるためであるといわれています。

高齢化が急速に進む中で、在宅療養が困難な場合も多いので、「地域包括ケア病棟」を適切に活用して地域包括ケア体制における拠点病院としての役割を果たしてゆきたいと考えています。

今後とも、これまで以上に緊密な連携に向けて、宜しくご支援とご協力をお願い致します。

管理者よりご挨拶



副院長
鎌田英明
（担当科：皮膚科）

日頃より多くの患者さんをご紹介いただき誠にありがとうございます。ご承知の通り、当院は本年４月より社会保険病院から新たに独立行政法人化された病院群の一員としてスタートを切りました。内部的には若干の改変もありましたが、地域の医療に貢献するという姿勢はこれまでと変わりなく、むしろ地域医療を推進していく病院となりました。今後もこれまで以上に地域の先生方と共に地域医療に取り組んで参いりますので、何卒ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

私の担当する皮膚科におきましても、これまでにも増して積極的にご紹介患者様の診療に当たって参りますので、手術応需を始めとして、相変わりませぬご紹介をいただきますよう、重ねてお願いいたします。

副院長
勝呂　元
（担当科：呼吸器内科）

当院は戦後間もなく創設され約 66 年にわたる長い歴史を持ちます。この間数多くの関係者の努力によって今日に至りましたが、本年３月末日をもって社会病院としての歴史に幕を閉じ、４月より新機構（地域医療機能推進機構）に移行しました。

これに伴い新機構の方針による運営が開始されました。特に地域医療への貢献が責務となりました。登録医制度やご紹介患者様の受け入れのシステムを整備しスムーズ対応できるように努力しております。さらに地域包括ケアー病棟を７月に開設しました。この病棟は、地域の医療機関や急性期病院からの患者様を受け入れ、在宅復帰の支援ができることを目指しています。地域医療の中核となる病院をめざして努力してまいります。これからもよろしくお願いいたします。

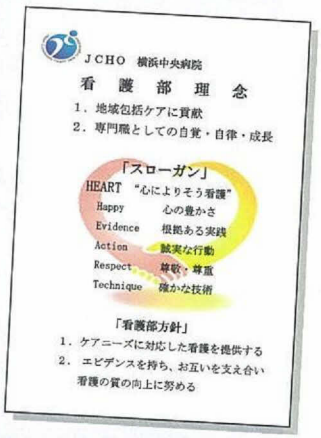
副院長
大岩功治
（担当科：救急科・内科）

このたび JCHO 横浜中央病院になり新たに副院長を拝命いたしました大岩です。

昨年１年間は地域ケアサービスセンター長として地域医療について勉強させていただきました。それまでは臨床医として循環器内科の患者様の治療を中心に仕事をして参りましたが、新たに総合診療や在宅医療、救急医療などを統括することで、地域の要となる医療を学びました。新機構になり文字通りの“地域医療推進”を行うことになりました。これまでの臨床医としての経験と地域包括ケアのシステムを融合させて、この地域の医療に貢献できるように、精一杯頑張りたいと思います。これからも JCHO 横浜中央病院をどうぞよろしくお願い申し上げます。

管理者よりご挨拶

看護部長
馬場悦子



独立行政法人地域医療機能推進機構（ＪＣＨＯ：ジェイコー）横浜中央病院の始まりにあたり、看護部を代表してご挨拶申し上げます。

看護部では、新機構・病院の目標であります「地域包括ケアの推進」に貢献すべく、組織体制・教育体制を看護職全員で考えてまいりました。

看護部理念：１．地域包括ケアに貢献
　　２．専門職としての自覚・自律・成長

看護部方針：１．ケアニーズに対応した看護を提供する
　　２．エビデンスを持ち、お互いを支え合い看護の質の向上に努める

また、今回初めてスローガンを挙げ目標・方針をより理解し易いように「ＨＥＡＲＴ」"心によりそう看護"と致しました。「Happy（心の豊かさ）Evidence（根拠ある実践）・Action（誠実な行動）・Respect（尊敬・尊重）・Technique　確かな技術」。さらに、平成 26 年度の目標は、「ＪＣＨＯ横浜中央病院看護体制の構築」とし、役割の実施を通してケアの質の向上に努めてまいりたいと思っております。最後に、地域包括ケア病棟運用でも、関係部門の力が効果的に発揮され、患者さん家族だけでなく、連携している皆様にも喜んでいただけるよう頑張りたいと思っております。

事務部長
村越　悟

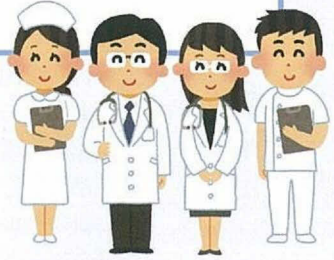
本年４月より独立行政法人地域医療機能推進機構（JCHO）横浜中央病院となり半年が過ぎました。病院の経営主体は変わりましたが、医師会の先生方、医療施設の皆様方や介護・福祉系の様々な方々より温かいご支援を引き続きいただき大変感謝をしております。この場を借りて御礼を申し上げます。

さて、新たな船出となりました今年度は、２年に一度の診療報酬改定があり、特に今回は、限られた財源の中、消費税への対応や"効率的で質の高い医療体制"を構築するため、機能分化や連携を一層意識しなければならない内容となりました。特に急性期病床の"ふるい落とし"は顕著で、高度医療を提供する医療機関の絞り込みがより鮮明となりました。他方、地域包括ケアの構築について誘導的な措置が取られ、"慣れ親しんだ地域で最後まで暮らせるため"に在宅医療を中心とした医療体制のシステム化が推し進められています。さらには、新たな取り組みとして『病床機能報告制度』が、10 月より運用開始となりました。全国の全ての病棟単位での稼働状況と人員配置や入院患者の詳細なデータを報告し、今後は、その情報を公表するとともに各都道府県は地域に見合った『地域医療ビジョン』を策定することになっています。つまり、前述した診療報酬の改定と新たな取り組みは、限られた財源を効率的に活用し、"質の高い医療"と"地域包括ケア"の充実が図るため、かつて経験した事がないようなスピードで医療制度が変容する様を示しています。

この様な医療制度の潮目と人口構造の大きな変化を考えると病院運営の厳しい将来が想定されます。しかし、この横浜の地は、古くより様々な時代の変遷を受け入れ、たくましく成長し続けている文化的な大都市です。グローバルな視点を忘れず、超高齢化時代の医療・福祉のあり方や社会の支え方等をこの横浜から世界に提言をするため、当院もその一端を担いたいと切に願っております。老朽化した、病院の立て替えも喫緊の課題です。単に医療政策をなぞるだけではなく、大都市『横浜』の地にふさわしい病院創りを達成させるため職員一丸となって頑張ります。どうぞこれからもよろしくお願い致します。

基本理念
『温かい心と気配りの医療』

4 月より泌尿器科部長と兼任して診療科統括部長に就任しました**岸本　裕一**です。
職員一同より一層頑張って参りますので、
今後とも宜しくお願い致します！

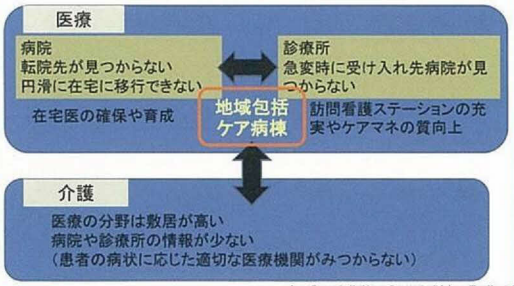


地域包括ケア病棟を7月から開設しました！

地域包括ケア病棟とは？

医療連携の課題を少しでも解消できるよう、平成26年7月から地域包括ケア病棟を開設しました。
今までの亜急性病床に近い形ですが、病棟全体が包括ケアを行います。
入院されている患者さんは、急性期治療をされた後の方や病状が落ち着いている患者さんになります。
急性期病棟とは少し異なった看護体制にて医療を行っております。
病棟内に専用のリハビリ施設を完備しています。

医療連携の課題



Japan Community Health care Organization Yokohama Chuo Hospital

当院の地域包括ケア病棟の受け入れ基準

- 院内入院で急性期を脱し、病状が安定した患者さんが対象です。
- 在宅で療養中に、少し調子が落ちたときの入院（治療や精査が必要な場合は、急性期病棟が基本）にも対応いたします。
- レスパイト的入院
- 他病院からの受け入れ（超急性期病院などで病状が安定した患者さんなど）に関しては、主治医やご家族などと協議の上転院できるかを判断させていただきます。

Japan Community Health care Organization Yokohama Chuo Hospital

当院の地域包括ケア病棟

Japan Community Health care Organization Yokohama Chuo Hospital

ご依頼から退院までのながれ

ご入院のご相談は地域ケアサービスセンターまでお願い致します！

【お問い合わせ先】TEL：045-681-9534（直通） 月～金 9：00 ～ 17：00 対応（祝日・年末年始を除く）

横浜中央病院 地域包括ケア病棟へのご依頼方法

1. 電話で入院のご依頼
   地域ケアサービスセンター
   TEL045-681-9534（直通）
   （平日9時～5時受付）
   → 地域ケアサービスセンター直通電話にご連絡ください。看護師又は医療ソーシャルワーカーがご依頼をお受けいたします。
2. 診療情報提供書FAX
   地域ケアサービスセンター
   fax045-681-9542(直通)
   → 地域ケアサービスセンター直通FAXへ診療情報提供書を送信ください。
3. 受け入れ状況の報告
   地域ケアサービスセンターより電話で報告
   → 受け入れについて医師と確認し報告いたします。病状やベッド状況によっては、地域包括ケア病棟でなく、急性期病棟でのお受け入れになる場合がございます。

横浜中央病院 地域包括ケア病棟での退院調整

月曜日 地域包括ケア病棟 多職種カンファレンス実施
→ 全患者の身体状況を、医師・Ns・PT・OT・MSWで確認。退院先での生活課題について共有し支援策を検討し、下記のように実施します。

医師から病状や退院についての説明 → MSW・療養支援Nsによる、退院支援 → ホームDr・訪問Ns・CM・患者・家族と退院前カンファレンス → 退院

外来診療予約制のご案内

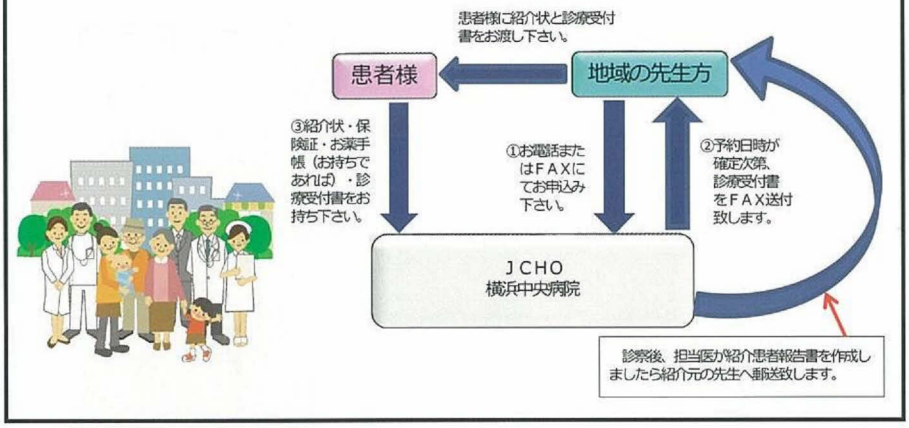
今年の 8 月より、外来診療の予約制を開始しました。
紹介状をお持ちでしたら患者様からでも予約を承ります。
ご予約・お問い合わせは地域ケアサービスセンターまでお問い合わせください。

ＪCHO横浜中央病院
外来診療予約システム

平成26年8月1日より、「紹介患者様の診療予約制度」を全科で開始させていただくこととなりました。

～予約から受診までの流れ～

①お電話かＦＡＸにて地域ケアサービスセンター　地域連携室へご連絡下さい。
（電話：045-681-9534　ＦＡＸ：045-681-9542）
②予約日時が確定次第、診療受付書をＦＡＸ送付致します。患者様にお渡し下さい。
③予約日当日は、紹介状・保険証・お薬手帳（お持ちであれば）・診療受付書をご持参の上、予約時間の15分前までに1階・総合受付にお越し下さい。
④受付手続きが完了しましたら、受診される診療科の待合でお待ちください。



部署紹介　地域ケアサービスセンター 地域連携室

地域連携室は、地域医療機関からの患者紹介、検査依頼などを受け付ける連携の窓口業務です。地域の皆様から多大なるご支援、ご協力をいただき、緊密な連携と機能分担の推進に努めております。今後も当院の機能を十分に生かし、救急医療や紹介診療等を迅速かつ適切な対応でお受けいたします。 地域ケアサービスセンター内に設置されており、医師・看護師・医療ソーシャルワーカーと連携をとりながらスムーズに患者様の受け入れができるように取り組んでおります。

おわりに…

新機構ＪCHO（ジェイコー）に変わり、初めての広報誌です。当院の新たな取り組みをご紹介させていただきました。今後、皆様にもっとＪCHO横浜中央病院を知っていただけるよう院内の取り組みや、当院登録医の先生方のご紹介などを予定しております。

次回の発行は平成27年1月を予定しています。

ご意見、ご要望等ございましたら地域ケアサービスセンターまでご連絡下さい！今後とも、宜しくお願い致します。

独立行政法人 地域医療機能推進機構
Japan Community Health care Organization
JCHO（ジェイコー）
横浜中央病院
Yokohama Chuo Hospital

★発行年月日 2014年11月28日　発行編集　地域ケアサービスセンター　地域連携室
御意見、御要望がございましたら地域ケアサービスセンターまでご連絡下さい。

〒231-8553 横浜市中区山下町268番地
TEL：045-681-9534（地域連携室直通）　FAX：045-681-9542
E-mail：chiikirenkei@yokochu.jp（平成27年1月より変更 chiikirenkei@yokohama.go.jp）
URL：http://yokohama.jcho.go.jp